

氏名 毛 利 好 孝

授与した学位 博 士

専攻分野の名称 医 学

学位授与番号 博 乙 第 2820 号

学位授与の日付 平成 6 年12月31日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第 4 条第 2 項該当)

学位論文題目 岡山県における非定型抗酸菌症の疫学に関する研究

論文審査委員 教授 青山 英康 教授 小熊 恵二 教授 原田 実根

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

非定型抗酸菌症（AM症）は結核に比べて治療が困難であり、その疫学についても不明の部分が多い。AM症に対する疫学的研究はAM症の予防に有効と考え、岡山県における昭和62年から平成3年までの結核登録者のうち、AM症と診断されて登録除外となった者を対象として疫学的検討を加え、下記の結論を得た。

1. AM症罹患患者では、結核罹患患者と比べて平均年齢に差は認められないが、罹患患者に女性の占める割合が高い。
2. AM症は、家族検診や接触者検診での発見がなく、人から人への感染が起こっていないことが示唆される。
3. 登録時（再登録者は再登録時）の胸部X線所見は、肺AM症では肺結核に比べて空洞病変を有するものの割合が少ない。
4. 年次別の全AM罹患率は、全結核修正罹患率と相関せず、全AM罹患率は今後上昇することが考えられる。
5. 全AM罹患率は、県南部で高く、県北部で低い。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は岡山県における昭和62年から平成3年までに結核患者として届け出、あるいは公費負担請求のあった者の中から、非定型抗酸菌症として除外された症例について、既存の登録結核患者との間で統計的に比較検討したものであり、エイズ患者に対する関心の高

まりの中で、非定型抗酸菌症のサーベイランス・システムの確立の必要性を指摘している点で価値ある業績であることを認め、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。